大阪城

2021 5/31 (月) 14169号

全港湾 西成分会

ごえん 6647-4947

明日から魔の6月がはじまる。
何もない年でも、日本の夏は熱くなり熱中症で救急車も走り危険な季節である。
その上に、2年も続くコロナウイルスである。
「ワクチンと感染拡大防止の二正面作戦で成果を出す」と軍隊用語をつかい、勇ましそうなことを宣伝する。そこからしてどうなんだろう。1万分の1ミリ以下の目に見えない物質であるウイルス相手に人間相手の戦争みたいなかまえ方からして目がぎんく、ウイルスはすり抜けて拡大しそうでもある。
そして、そもそも、二正面ということ自体がダメだろう。力がない時は、一面に集中するべきとは兵法の鉄則ちがうだろうか。コロナウイルスもオリンピックも！と二正面はダメで、人間の生命がかかっているコロナウイルス一本に全力を集中すべきだろう。
コロナウイルスだけとの対応でも、どの国もたいへんなのが、実状だろう。科学最先端といわれるアメリカで死者60万人になろうとしている。
6月には、いろんなことの前段階のことが、現れて現実化してくる。秋をまたずとも、魔の6月の間に、姿が見えてくる危険で緊張する時になりそうです。

長期化する緊急事態宣言、更に一段の底割れ日雇い求人市場

新年度に入ったこと。梅雨に入って雨の日が多いこと。そして新型コロナの影響。とりわけ緊急事態宣言の再延長と言うことで、この地域の日雇い求人状況は壊滅的な様相をつよめています。

関係者もちょっとなすすべもなくあきらめムードがただよっていて、コロナの終息しだいということのようです。

ちなみに去年４月の現金求人数は１４１０２人、おとしの４月は２０，２５８人なのでほぼ半数になっています。

仮移転のことも関係していますが、建設労働市場の立て直しはけっこう大変なこととなりそうです。

世間では「コロナ前」「コロナ後(ポスト コロナ)」という議論もされているようですが、この街の風景も予想できないものになりそうです。

４月の地域求人数		対前月増減比	対前年同月増減比
現金（日払い）	**11,751**	**−19.4%**	**−16.7%**
契約（延べ数）	10,070	-18.5%	48.0%
高齢者清掃ほか	5,289	-4.5%	-0.2%

現金求人状況は、**前年比16．7％の減と**なっている。

西成労働福祉センター　　センターだより